

## 守成 100 年への挑戦

栃木県医師会常任理事 田中 昌宏

平成 26 年、新年明けましておめでとう御座います。本年も宜しく願いを申し上げます。新年早々に重苦しい話題で申し訳ありません。

\*\*\*\*

平成元年、下野の国分寺町に病院を開業以来 25 年余。

医療人の矜持、「轍鮒の急」を病院正面の待合室に掲げ、地域住民の生活になくしてはならない医療機関を目指して一心不乱に邁進して参りました。創業の際は選挙でいうところの地盤、看板、鞆は全て持ち合わせず、渾身満力の精神で前進する以外には何ら手段は持ち合わせていませんでした。体力、気力を頼りに、強運だけは人後に落ちないと自負して第一歩を踏み出しましたが、些か冒険に過ぎる船出となりました。毎日、幾多の難事や困難を乗り越えて、平日は通常の勤務体制、さらに夜間当直と休祭日の医師当直も常勤医 3 人だけの交代で開院 3 年の期間を消化しました。医療安全が叫ばれる昨今の医療現場から見れば全く信じられない恐ろしい過重労働の光景でした。失敗は許されない、積もり重なる疲労、何か区切りをつけないと明日を迎えることが出来ないといった強迫観念に苛まされて、「今日はこれで終わり」のけじめとして晩酌を始めるようになりました。夕餉で酒を呑むことは今日の仕事の終わりを意味し、肉体労働者が火照る肉体の苦痛を酒で癒す習慣も良く理解できました。流石に度を越した危険というものを察知して、以後は、大学医局に応援派遣を頼み込み、週の半分くらいの夜間当直は非常勤医の応援をもらい急場を凌ぐことができました。

\*\*\*\*

ご承知のように創業して 30 周年を迎えられる国内企業は 1000 社中、僅か 2~3 に過ぎません。景気の影響に激しく揺さぶられ、業績の浮沈は事業の常としても、その多くは淘汰され消滅してしまうのです。病院や診療所においては、他業種ほど競争が厳しくはありませんが開設者の高齢化などにより自然に消滅していく例が見受けられます。医療機関の継承問題は単に開設者、後継者だけの問題にとどまらず地域の公共財としての視点も加味して論じられる筋合いのものでしょうか。また事業承継を上首尾に運ばなければ事業の更なる発展は望むべくもありませんし、万が一、バトンを受け損なえば法人そのものが存続の危機に見舞われることにもなるのです。その時には頼りになる先代はとうに千の風に乗って、この世にはいないから始末に悪いといえます。円滑なる事業継承は計画的に長い時間をかけて取り組む

ことが求められる所以です。日々の多忙な診療にかまけて疎かにしていないか、一度はきちんと検証することが必要です。「泥水百石」など創業当時の労苦を表す語句や創業当時の艱難辛苦の語り草は数多く存在し、その骨子が社訓になって生き延びている企業も少なくないようです。現在、経営が安定していても 100 年先のことは誰にも分かりません。将来、病院がどのような形に変貌しても、その時代の流れに順応し御当地において営々と事業を永続させていかねば創業した甲斐がないというものです。

\*\*\*\*

さて中国王朝、唐代の帝王学の手引き、「貞観政要」の中に「創業は易く、守成は難し」という問答が記載されています。主たる意味は、「創業は幾多の外敵との戦い、一方、守成（組織を維持して守り抜く）は、内なる自分自身との戦い。いずれも困難を伴うが創業よりは守成の方が難しい」とされています。開院して 10 年目の平成 10 年頃は、バブル経済はじけた後の不景気の真っ直中で、後に「失われた 10 年：lost decade」とも呼ばれ、日本政府を含めた日本株式会社群が国家レベルの巨額資産を喪失した時期に重なります。当病院は創業時の病院建設反対派との軋轢など躓きとも言える問題が幾つか尾を曳いて対外的には難しい局面が続いていました。しかし病院の収益は医療費抑制策の中においても安定して単調増加を示しました。当時の収益増は病院の諸問題をすべて癒してくれる良薬となりました。この当時の感覚は「創業は難し、守成は易し」（原典とは逆）の方がピッタリする状況でした。平成 25 年、日本の基礎的財政収支の赤字、累積する膨大な赤字国債、社会福祉費の増大、また国民医療費の増大など、いずれをみても財源は窮乏し政府は消費増税に一縷の望みを託しているようにも思えます。このような財務状況の中、この先、医科診療報酬をアップする余地など果たしてあるのでしょうか？更には少子高齢化、生産人口の減少、医師不足、看護師不足、認知症老人・介護難民・看取り難民の増加、エネルギー問題などの国の在り方が問われ、抜本的な解決を必要とする難問は堆く積み上っています。難問百出のこの日本を癒す方策は一体、奈辺にあるのでしょうか？これからの世は「創業は難し、守成も難し」とも言うべき、一層、難渋な時代に突入したように思われます。たとえ暗雲が空を覆い驟雨に見舞われようと挫けずに気持ちをしっかり保ち、心に夢を抱いて遠方を思い遣らねばなりません。

小生も「其位素行の精神」、「万事に自責」、「渾身満力」の覚悟で、今まで以上に気持ちを引き締めて生き抜いていかねばなりません。

守成 100 年の初夢を願って・・・・・・！！